

ご入学・ご進級おめでとうございます

校長 小林 繁

桜花爛漫の喜びを実感できる春となりました。校庭の周りには、新2年生や地域の方が植えてくださったパンジーやマーガレットの花が咲いています。春をじっと待っていた木の芽もふき、心がわくわくするような躍動を感じます。

お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。保護者、地域の皆様方の温かいご支援のお陰で、60名の新1年生が、希望に胸をふくらませて本校に入学しました。本年度は、全校児童327名、通常11学級、特別支援3学級、合計14学級となります。新入生や新しい教職員を迎え、たくさんのお会いの中で気持ちを新たにスタートいたしました。

校長として本校2年目となりました。これまで臨川小学校が築いてきた伝統を引き継ぐとともに、変化の激しい時代の中でたくましく生きる子供を育て参ります。年度の始めにあたり、学校経営方針について、お伝えいたします。

本校は、教育目標を

「やさしく」「つよく」「かしこく」と設定し、臨川小学校で学ぶことに誇りをもち、互いの違いを認め高め合う豊かな心と、時代の変化に柔軟に対応する知性を備え、たくましく未来を創造していく子供の育成を目指します。

この教育目標の実現に向けて、次の4つを基本方針といたします。

- 1 子供が自分のよさを存分に発揮できる学校
 - 2 保護者に信頼され、安心して子供を任せられる学校
 - 3 地域と信頼関係を築き、地域の教育力を生かす学校
 - 4 教職員が互いに尊重し合い、自分の力を存分に発揮できる学校
- また、本年度は、教育目標「かしこく」を重点として教育活動を進めて参ります。

学校で、子供たちに、どのような力を身に付けさせていくかを考えるとき、子供たちが直面している「今」の生活をどう充実させていくかを考えることと、20年後、30年後の未来を担う子供たちに、どのような力が必要かをとらえることが大切だと考えています。

子供たちの「今」という面では、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されます。これを契機に、国や地域の垣根を越えて、様々な人と関わりながら共存していく社会へと変わっていくことでしょう。英語によるコミュニケーションの力を付けることや、様々な国の文化を理解すること、日本の伝統文化を改めて学び、誇りをもつことが、子供たちにとって大切になってくると考えます。また、新しい学習指導要領においては、教科学習や行事等を通して、身に付ける力を明らかにして指導することが大事であるとされています。本校では、基礎的・基本的な学力を身に付け、その上で思考力・判断力・表現力を高めて参ります。

一方、子供たちの未来を想像し、身に付けさせるべき力を考えますと、それは「表現力」であると感じています。臨川小学校の子供たちが、広い世界で活躍するためには、豊かな人間性を育むとともに、自分の考えをしっかりと伝える力を磨くことが大事です。そのことが、「子供が自分のよさを存分に発揮できる学校」にも繋がるのではないかと考え、本年度の重点を「かしこく」といたしました。

「平成」から「令和」に変わる節目の年度を、良い一年にできますように、教職員一同、全力で取り組みます。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。